

## 4 アレルギー科フェロー研修要綱

指導責任者 松井 照明

当科では、「基礎・臨床・社会」の3本柱に立脚して、アレルギー疾患の診療、研究、社会活動に取り組んでいます。病院内での診療に留まらず、基礎医学から社会的な問題まで、広い視野を持ったアレルギー専門医の養成を目指しています。

- ・ <基礎>基礎免疫学、臨床アレルギー学はもちろん、栄養学・食品化学など、医学以外の専門家ともつながりが多くあり、幅広い分野での研修が可能です。
- ・ <臨床>食物アレルギー、アナフィラキシー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など小児アレルギー疾患全般にわたる診療を行っています。なかでも食物アレルギーに対する経口負荷試験と経口免疫療法に力を入れ、多くの重症患者を治療しています。研修の際には、負荷試験の担当や免疫療法の主治医も担当していただきます。
- ・ <社会>園、学校、保健、行政、患者団体などと共同して、社会的なアレルギー対応レベルの向上に寄与する役割は重要です。アレルギー支援ネットワークを通じた、エピペン指導講習会やアレルギー対応のための講座を任される機会も多くあります。研修を通して、社会的な活動を支えられる専門医を養成したいと考えています。今年度中には、愛知県アレルギー疾患医療拠点病院に指定される見込みです。

### 1. 活動実績

常勤医	4名（アレルギー指導医1名、総合診療科兼務2名）
フェロー	9名
外来延べ患者数	9769名/年（平成28年度実績）
入院患者数	延べ1948名/年（平成28年度実績）
施設認定	日本アレルギー学会認定施設
報告論文数	10報（英文誌）/23報（和文誌）（2017年）
研修期間	原則2年ですが、1年から3年までご相談に応じます。

### 2. 主な診療内容と特徴

#### 食物アレルギー

食物経口負荷試験：平成28年度実績 1373件

[ 日帰り入院1138件（うち運動負荷62件）、外来235件 ]

急速経口免疫療法：平成28年度実績 42例（鶏卵、牛乳、小麦、ピーナッツ、ゴマ）

管理栄養士（小児アレルギーエドゥケーター）による個別栄養指導 常時

集団料理教室 隔月

患者さん向けアレルギー教室 年2回

食物依存性運動誘発アナフィラキシー：誘発試験 毎週3人

#### 気管支喘息

呼吸機能検査、可逆性試験、運動誘発試験、気道過敏性試験

重症難治例に対しては、特別支援学校を利用した長期入院も可能。

#### アトピー性皮膚炎

重症例に対する1-4週間の入院治療（年間約10例）

外来看護師（小児アレルギーエドゥケーター）によるスキンケア指導

精神的、社会的問題（虐待）を抱えた症例は、保健部門および心療科と共同で診療。

#### アレルギー性鼻炎

アレルゲン特異的免疫療法（ダニ、スギ、イネ科花粉）

### 3. 研修内容

#### ・ 外来

外来主治医として、新患・免疫療法実施症例を継続的にフォローします。

#### ・ 病棟

食物経口負荷試験と急速経口免疫療法に従事します。入院患者は担当医+回診当番制で、毎日症例カンファレンスを行って診療します。

#### ・ 研究

臨床研究の立案からデータ解析・発表・論文執筆まで、意欲に応じて指導します。

学会発表（年1回以上）、論文執筆（1報）を目標とします。

名古屋学芸大学管理栄養学科、藤田保健衛生大学、三重大学、京都大学、相模原病院など幅広い共同研究者と、多くのテーマで臨床研究を進めています。

名古屋大学関連病院や、東海地区の各種アレルギー研究会による多施設共同研究も立案して、実施するチャンスがあります。

#### ・ カンファレンス・抄読会

毎朝30分 入院患者のミーティング等

毎週火・金曜日夕方 抄読会・症例検討会・各種研究の打合せ・学会予演会

・愛知県では、小児アレルギー関連の研究会が多数あり、それぞれ定期的に講演会を開催しています。全国トップレベルの講師（臨床・基礎とも）の話が身近に聞けると共に、そうした場で発表する機会も豊富です。

・ 市民・専門家向け啓発活動

一般市民や患者・保健・教育・栄養関係の専門家を対象とした講演会に講師として参加、アレルギー相談会など様々な社会啓発活動に参加し、アレルギーの社会的な諸問題に触れる機会があります。

#### 4. 主な研究テーマ

- ・ 食物アレルギーに対する急速経口免疫療法
- ・ 食物アレルギーに対する緩徐微量経口免疫療法
- ・ 食物アレルギーに対する食事指導方法の確立
- ・ 食物アレルギーにおける運動誘発症状の機序検討
- ・ 食物アレルギー即時型症状に対するステロイド薬の有効性の検討
- ・ 運動による食物アレルギー症状誘発の評価
- ・ DHA 併用経口免疫療法の検討（計画中）
- ・ 皮膚水分計を用いたドライスキンの評価
- ・  $\omega 5$  グリアジン欠損小麦を使用した食パンの抗原性の評価
- ・ TGF  $\beta$  を併用した緩徐経口免疫療法（多施設共同研究）
- ・ 重症鶏卵アレルギー児に対する早期経口免疫療法（多施設共同研究）
- ・ 大豆乳のアレルゲン性と大豆アレルギー児に対する大豆乳を使用した免疫療法の検討
- ・ 魚卵アレルギーの原因及び交差反応性の検討
- ・ 小麦アレルギーと大麦アレルギーの合併率の検討
- ・ 加熱による山芋のアレルゲン性の変化の検討

#### 5. 関連団体

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク